

本質をつかむ

彫刻の人 野尻佐太右衛門



2023.11.8wed~12.25mon

🕒 9:00open-17:00closed ※12月は水曜休館

入館料:一般800円、高大生400円、小中生300円(常設展示含む)

主催:公益財団法人致道博物館 共催:山形県、(公財)山形県生涯学習文化財団、鶴岡市教育委員会



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199

彫刻の人 野尻佐太右衛門

2023.11.8_{wed}~12.25_{mon}

野尻 佐太右衛門 のじり さたえもん
大正14年(1925)、山形県西田川郡温海町(現鶴岡市)に生まれる。東京の中野通信学校を中退して帰郷。鶴岡市役所に勤めながら、昭和19年(1944)、鶴岡中学校夜間部を卒業。再び上京し警視庁巡査となるが、彫刻の道をあきらめず、同24年、東京藝術大学美術学部彫刻科に入学。石井鶴三に師事。小中学校教員を勤めながら、同35年、再興第45回院展に『裸婦』で初入選、その後は太平洋展に出品し、太平洋美術会会員となる。I氏賞、堀進二賞などを受賞。晩年は理事・参与として同会運営に尽力した。令和3年(2020)逝去。

変わらない彫刻への熱
元旦彫り初めは「林檎」



林檎(木彫、イチチョウ材など、高12.0cm)

市職員や警視庁巡査になったが、彫刻の道を志し——。東京藝術大学美術学部、彫刻科の第一期生であり、石井鶴三の薫陶を受けた鶴岡出身の彫刻家・野尻佐太右衛門。太平洋美術会に所属し「精神の自由」を立体表現に求め、作品制作に挑み続けた。

新収蔵の作品22点を中心に、彫刻・彫塑・油彩画作品のほか、教師として美術教育の在り方を記した資料など、約60件を展観する。

裸婦座像
(彫塑、ブロンズ、高60.0cm)



日暮れて、道遠し

猫2(木彫、槐材、高35.0cm)



女の首
(彫塑、ブロンズ、高37.5cm)



彫刻に、なる



裸婦(木彫、高35.0cm)



裸婦座像(テラコッタ、粘土、高38.0cm)

心をかたち

木(ラウンド)(木彫、高36.0cm)



裸婦(彫塑、ブロンズ、高62.0cm)

§記念講演会【土曜講座 第3講】

日時:11月11日(土)14時~16時

演題:「山形の彫刻家たち」

講師:加藤千明氏(元山形美術館館長)

申込:先着40名(参加は無料ですが、入館料が必要です)

§ギャラリートーク

日時:11月25日(土)・12月9日(土)

各回14時~16時

内容:担当学芸員による展示解説

申込:不要(直接会場へ、お越しください)



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18

電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531

https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp



■JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分

■山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分

■庄内空港より
車で25分

「致道(ちどう)」の名称は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』の一節「君子学んで以て其の道を致す」です。

